

東大和 9 条の会だより

2017年3月11日発行 通算第99号
戦争法廃止！ 憲法9条壊すな

東大和9条の会

H.P <http://higashiyamato9.main>.

✉ higashiyamato99@gmail.com

☎ 鳥谷 靖 090・1856・3388

277に絞った共謀罪(テロ等準備罪)でも、やっぱり「不要」で「危険」

3月6日(月)、都内で九条の会東京連絡会の3月懇談会が開かれ、自由法曹団共謀罪阻止対策本部事務局長で弁護士の三澤麻衣子氏が講演しました。その概要を報告します。

1 「共謀罪」法案の流れ

- ① 2003年～「共謀罪」法案は、過去3度廃案
- ② 2016年の法案流出—オリンピックが絶好の口実だと考え、修正してでも通したいと思ひ、批判や世論の動向の様子見
- ③ 2017年1月16日 菅官房長官記者会見
「従来の共謀罪とは違う」？
「テロ等準備罪」を新設する組織犯罪処罰法「改正案」という形式
「共謀罪」の構成要件を変更？

④ 17年2月28日法案3点セット(277の中身等)

結局、危険(一般人対象、将来の弾圧手段に使える可能性)変わらず

2 「共謀罪」の仕組み

- ① 通常の犯罪—刑法やその他の法律の各条文に構成要件と処罰の重さが規定されている例 殺人罪・・・刑法199条で処罰
- ② 「共謀罪」という新しい犯罪を作る—各々の犯罪を規定した法律で処罰されるのではない。組織犯罪処罰法という法律の中に「共謀罪(テロ等準備罪)」という新たな犯罪の規定を作る。=====>(構成要件)

ア 組織的犯罪集団が

イ 長期4年以上の懲役刑(又は禁固刑)が定められている特定の犯罪について

ウ 「共謀(2人以上で計画)」し、そのうち誰か1人が共謀した犯罪行為を実行するための「準備行為」を行った場合 組織犯罪処罰法の「共謀罪(テロ等準備罪)」の規定で処罰される。

3 近代刑法原則に反する共謀罪—条約にも違反する

- ① 日本の近代刑法原則 =>行為主義
- ② 共謀罪の根拠となる国際組織犯罪防止条約(TOC条約)34条1項=>国内法の基本原則に従って



講演するの三澤弁護士



1冊200円です。